



もりひろみせんせい
森浩美先生の出張授業

じぶんかんが
「自分で考えること」の大切さ

6月9日、東京の台東区立忍岡小で、作詞家
の森浩美先生による出張授業があったよ。
プロの“つくる人”はどうやってアイデアをふ
くらませていくんだろう。



さくしのか
作詞家
森浩美先生
スマイ
SNAP「青いイナズマ」
キンキキッズ「かいわれるより愛したい」
など約700曲をつくっているよ。

授業のテーマは「自分で
考えること」。目で見る、
耳で聞く、肌で感じるな
ど、五感をいっぱい使うこと
が、自分で考えるための第一
歩と森先生。そして「ど
うしてなんだろう」と
思ったら、すぐに調べる
ことが大切なんだ。先生
のおうちでは、ご飯を食べる
テーブルにも国語辞典と地球儀が
あるんだって。
授業では、言葉の連想ゲー
ムもしたよ。ノート
の真ん中に「赤」
と書いて、その



まわりに、「夕日」とか「すい
か」とか、「赤」から連想し
た言葉を書いていくんだ。そ
して、「すいかのよう赤」のよ
うに、最後に一つの文を完成させ
る。これを1日1回、3分ずつやると、
作文も上手になるんだって。

忍岡小は今年、創立140周年。み
んなで記念の校歌をつくるそうだよ。
この日の授業は役に立ちそうだね。
森先生は「プロのつくり手は、著
作権がないと作品がつくれなく
なるんだ」と言っていた。著
作権の大切さについて
ても、考えてみてほ
しいな。



おんがく
じゅうけんきゅう
音楽で自由研究

出張授業の様子や「音楽」をテーマにした工作を、
JASRACのホームページで紹介しているよ。
みんなも夏休みに体験してみよう。

JASRAC®

ジャスラック 学べる

www.jasrac.or.jp/jasracpark/

みちか
たいせつ
身近で大切なルール
ちょさく
けん

著作権 知ってるかな?

ジャスラだよ
もうしくね!



ちよさくけん
おんがくほん
たの
著作権は音楽や本、ゲームなどを楽しむた
めの大切なルール。ジャスラといっしょに著
作権について学んでみよう!

友達のものを借りるときには
「使ってもいい?」と聞くよね。が
んばって書いた作文や絵をマネされたり、勝手に使われたりしたら
イヤな気分になるよね。同じ
ように、音楽やイラストなど、ほかの人があつつく
使うときに、つくった人がつくった
作品を使うときに、つくった人から許可をもらうのがルールなんだ。
このルールを著作権というよ。自
分の作品を大事にしてもらえた
ら、「もっといい作品をつくろ
う!」という気持ちになるよね。



可をもらうのは大変だよね。そこ
で、音楽を使うときの窓口と
して、JASRAC(日本音楽著作権協会)が
演奏したり、録音したり、ホー
ムページにのせたりして音楽を使
うとき、つくった人全員から許
可をもらう。演奏したり、録音したり、ホー
ムページにのせたりして音楽を使
うとき、つくった人全員から許
可をもらうのは大変だよね。そこ
で、音楽を使うときの窓口と
して、JASRAC(日本音楽著作権協会)が
あるんだ。



詞家や作曲家など音楽をつか
くつた人から頼まれて、音楽を使
う許可を出し、そのときに受け
取ったお金(使用料)をつくった人
に届ける仕事をしているよ。

演奏したり、録音したり、ホー
ムページにのせたりして音楽を使
うとき、つくった人全員から許
可をもらうのは大変だよね。そこ
で、音楽を使うときの窓口と
して、JASRAC(日本音楽著作権協会)が
あるんだ。

大切なルール

ジャスラックって?

じこ
自己
じょうかい
紹介

たんじょうび
誕生日
とくぎ
特技
なや
悩み

がつにち
11月18日
みぎなげひだりうち
右投・左打。オカリナ。テルミン。D.J.
おんぶぼうし
音符の帽子をかぶっているのに、時々「おた
まじゃくし」と間違られる。著作権をかむ
(ちよしゃ、ちよちゃん)。

